

# 第39回 宗像区中学校新人ソフトテニス大会 ガイドライン

宗像区中学校ソフトテニス専門部

## 1. 競技規則および競技中の諸注意

- 本試合は、日本ソフトテニス連盟発行「ソフトテニスハンドブック」の「競技規則」に準ずる。
- 男子団体戦は、決勝リーグ方式とし、7ゲームマッチとする。女子団体戦は、リーグ・トーナメント方式とし、予選リーグは5ゲームマッチ、決勝トーナメントは7ゲームマッチとする。
- ベンチサイドは、若番が審判台から見て左とする。
- サイドコーチは、チェンジサイズの際にベンチ付近で1分以内に行う。
- 審判は、選手の相互審を原則とする。ただし、女子団体戦の準決勝以降の審判は、専門委員が行う。
- 遅延行為を禁止する。プレーヤーの動作に違反があると審判が判断した場合は、プレーヤーまたは監督に注意を促し、それでも改められない場合は警告を宣告するものとする。
- 開会式および閉会式は行わず、表彰は対象選手とその保護者のみ、本部にて行う。
- マナーチェックは、当日に顧問が自校の選手を対象にして行う。違反等があった場合は、監督者会議にて申告するとともに、当該校の校長へ連絡し、出場の可否を協議する。

## 2. 新型コロナウイルス感染症対策について

### <参加選手について>

- 大会当日までに「体調記録表（学校保管用）」に必要事項を記入の上、各校の顧問に提出をする。
- 大会当日の朝、検温および健康観察を行い、「体調確認表（大会当日提出用）」の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる。
- 体調不良により欠場する選手がいた場合は、以下のように対応する（熱中症や怪我也同様とする）。

団体戦は、当日の監督者会議にて、登録選手を変更することができる。

○マスクを着用する。尚、試合中においては、選手・正審・副審はマスクを着用しなくてよい。ベンチ

控えの選手はマスクを着用する。

○会場内では他人との距離を2メートル（最低1メートル）確保する。コート内でもできるだけ2メートル（最低1メートル）を確保するよう努力するとともに、ペアで話をする際には、対面しないようにし、ハイタッチや握手は行わない。

○試合前のアップおよび試合において、選手が密集・密接する円陣や声出し、整列は控える。

○コートに入る際には、必ず消毒を行う。

○団体戦整列時はベースラインで、各試合前の挨拶、トスおよび試合後の挨拶はサービスラインで行う。

また、試合前後の握手は禁止する。

○試合中は、選手のインプレー中の声出し、ペアへの声かけなどは常に認める。

○会場到着時・更衣前後・試合前後・食事前後・解散時は手洗いをを行う。

○用具・用品（ラケット、タオル、ウェアなど）の共有はしない。

#### <観戦・応援について>

○全日程において全学年の生徒の参加を認める。ただし、部員数よってはその限りではない。

○保護者は、参加生徒1名につき2名までとする。会場ではマスクを着用する。

○観戦・応援は、試合に参加する選手の保護者および同学校の選手・コーチが、ベンチサイド後方のフェンス周辺で行うことを認める。他の生徒および保護者はフェンス周辺には集まらないようにする。

○観戦をする際は、密な状態にならないように間隔をとり、マスクを着用する。

○拍手による応援を主とし、声援は控えるようにする。

#### <会場使用上の諸注意>

○各会場のトイレ等を利用し、こまめな手洗いに努める。ただし、一度に入室する人数が多くなならないように注意する。

○会場に設置されている消毒液（または個人の消毒液）で、手指消毒をする。

○飲食物の提供時、参加者が同じトングを使用したり、コップの共有、使い回ししたりしないように注意する。

○飲食については、周囲の人となるべく距離をとって対面を避け、会話は控えめにする。

○ゴミは、各選手・保護者が持ち帰るものとする。

○会場内における喫煙および唾、痰を吐く行為を禁止とする。

#### <専門委員について>

○大会に参加するすべての者（選手、監督、コーチ、保護者、専門部員）の検温を実施する。

○大会当日の朝、選手の検温および健康観察を行い、「体調確認表（大会当日提出用）」を宗像区専門部長に提出する。

○手洗い場に石けんを準備するとともに、丁寧な手洗いの方法に関する資料を提示する。

○トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、水洗トイレのレバー等）や、共有物（試合球、審判道具、コートブラシ等）については、こまめに消毒する。

### 3. 熱中症対策について

○生徒は原則として帽子をかぶることとする。

○チェンジサイズおよびチェンジサービス時（ファイナルゲームを含む）の給水を認める。

○選手の塩分タブレットの補給を認める。ただし、菓子類は認めない。また、補給は待機時および応援時のみとし、競技中は認めない。

○応援生徒の日傘の使用を認める。ただし、銀色・白色など反射する色は不可。また、日傘を使った応援は認めない。